

令和元年度 自己評価表

倉吉市立成徳小学校

<p>学校教育目標</p>	<p>「自学・自治・創造」の精神に満ち、心豊かでたくましく生きる人間づくりを目指す。 【本年度の教育目標】 ○感謝の気持ちを大切に、進んで課題を見いだし、解決しようとする児童の育成</p>	<p>めざす子ども像</p>	<p>○よく学ぶ子 ・さまざまなものを進んで学ぼうとする子 ・他の人と進んで会おうとする子 ・自分の可能性を見い込もうとする子</p>	<p>○心ゆたかな子 ・感動を大切にしようとする子 ・命を大切に、感謝の気持ちを大切に ・自然を愛し、学校を愛し、郷土を愛する心を持つ子</p>	<p>○きたえあう子 ・よりよい習慣を身につけようとする子 ・競い合い、励まし合い、支え合う子 ・目標に向かって努力する子</p>
---------------	--	----------------	---	--	---

		年度当初			評価結果(2月)		
評価項目	現状	めざす姿	具体的方策	評価方法	経過・達成状況	評価	改善方法
学力を育てる	長年にわたり一貫して自学・自治・創造の教育を推進してきたことにより、明るく、物事にまじめに取り組む児童が多い。しかし、進んで学習に取り組む態度や、自分の考えを表現し、関わり合いながら学び合う力は、さらに伸ばしていくことが必要である。	○進んで学ぶ子	○課題意識を高める授業づくり ○「学び方学習」の見直しと実践 ○読書意欲と質を高める働きかけ	○学校評価アンケートの家庭学習に関する設問への児童のプラス評価を50%以上にする。 ○「学び方アンケート」の家庭学習の設問に対するプラス評価を10%増やす。 ○年間読書量100冊以上の児童を全校の80%以上にする。			
		○基礎的な知識・技能を身につけた子	○単元や1時間の到達目標を明確にした指導と評価の工夫 ○授業研究後、提案された内容を2つ以上実践する。 ○ICTの効果的な活用 ・ICT機器を毎日活用する。 ・学期に1回以上、児童がICTを活用する授業を行う。	○学び方アンケートの「学習したことがよく分かる。」という設問へのプラス評価を90%以上にする。 ○学校評価アンケート「職員用アンケート」のICT機器の活用に関する設問へのプラス評価を80%以上にする。			
		○関わり合いながら学び合う子	○「対話」活動を活性化する働きかけ ・発問の工夫と精選 ・対話を深める問い返し	○学校評価アンケート「児童用アンケート」の表現や説明に関する設問に対するプラス評価を90%以上にする。 ○学び方アンケートの表現や対話に関する設問へのプラス評価を85%以上にする。			
心と体を育てる	素直で明るい児童が多く、男女、学年の隔てなく、和気あいあいと関わり合っている様子がよく見られる。一方で、相手や場面にふさわしい言葉遣いや行動ができていない児童が少なく、そこで、相手のことを考えた言動・態度の日常化を目指したい。また、落ち着いた気持ちで生活する環境を自分たちで作り出したい。規律ある生活をするために、「くらしのめあて」5項目と関連づけ、児童会活動による自主的な活動を通して、他者や物を大切に、自分たちで自分たちの言動を律する自律心を育てたい。 さらに、進んで体を鍛えたり、基本的な生活習慣を身につけようとする意識を高めていくことが必要である。食を通して、健康と感謝の思いを実感していく必要がある。	○相手や場面にふさわしい言葉遣いのできる子	○学級での目標設定、反省の実施 ○全職員による生活場面に促した日々の指導 ・全職員で継続的に指導に当たる。随時指導を大切にすると同時に、国語・道徳等の教科とも関連づけて言葉遣いを扱った集中指導に重点的に取り組む。 ○「仲間づくりコーナー」の設置・活用を通して児童が互いに認め合う環境をつくる。	○各学級で目標を設定し、周りの人への言葉遣いを反省して達成状況を把握する。 ・学習中の言葉遣いが適切である。 ・目上の人への丁寧な言葉遣いができる。 ・全体の場(公共の場)での正しい言葉遣いができる。 ○「くらしのめあて」(5項目)を定期的に振り返り(各学年・教職員)意識・態度の高まりを見る。全学年の達成状況を80%以上にする。			
		○規律ある生活環境を作り出せる子	○代表委員会等重点項目を決め、達成の為の方策を学級で話し合い取り組む。 ・各学級で今月のくらしの重点目標を決め、運営委員会作成の記入用カードを活用する。 ・学期ごとに児童と教師の「くらしのめあて」達成度についての自己評価アンケートを実施し、意識付け・評価する。 ○児童会からの呼びかけにより、あいさつ、そうじ、ろうか歩行の自主的な意識付けを行う。	○朝のあいさつ運動の実施や、校内への訪問者・地域の方に対し進んであいさつする姿が増える。 ○無言で、時間いっぱい掃除する姿が習慣化する。 ○休憩始めの遊び場に向かう時や休憩中の遊びの中、下校時等に安全な廊下歩行を意識したり、呼びかけをしったりする姿が増える。			
		○基本的な生活習慣を身につけ、進んで体を鍛えようとする子	○打吹山クロスカントリーを通した体力づくり ○教科体育や体育の家庭学習に体力向上のための運動を取り入れる ○「健康調べ」を実施・集計して活用する。 ○生活習慣に関わる保健指導を行う。 ○児童会活動による体力づくりに関わるイベントを企画・実施する。	○児童・保護者による学校評価アンケート(7月、12月)により、該当項目の肯定的評価を80%以上にする。 ○柔軟測定を2回実施し、児童の変容を見る。(6月、11月) ○新体カテスト。県平均を上回る項目を45項目(50%)以上にする。 ○「健康調べ」の各項目の達成状況を80%以上にする。			
		○食を通して、健康と感謝の思いを実感できる子	○学級での給食指導 ○公民館との連携 ○給食センター職員との連携 ○感謝の気持ちを高めるために給食放送の時間はしっかり聞ける環境づくり	○児童・保護者による学校評価アンケート(7月、12月)により、該当項目の肯定的評価を90%以上にする。			
伝統文化の重視	城下町倉吉の中心地として発展してきた歴史と、打吹山や玉川などの豊かな自然素材を有する成徳地区にある本校は、地域の特色を生かした教育活動を工夫してきた。子どもたちが課題意識を持ち、調べ、伝えていこうとする、より主体的なふるさと「倉吉・成徳」の担い手となることをめざして、これまでの取り組みを見直し、改善を図りたい。	○地域の人と関わりながら、地域のことを進んで学ぼうとする子	○地域の自然、歴史、文化、産業について、人材を活用した実践的活動の充実 ○これまでの活動の見直しと、主体的学習活動の推進(みつばし踊り、玉川清掃、倉吉イカ、福の神、打吹天女伝説、お祭り、長谷の観音市等) ○生活科や総合的な学習の時間を軸にした学習活動の展開と児童集会、全校スピーチ大会など表現活動の工夫 ○ふるさと学習年間計画の整備	○地域の力を活用した授業を、各学年、年間3回以上実施する。 ○地域での活動に進んで参加する。 ○学校評価アンケートで「地域の学習が楽しい」と回答している児童を90%以上にする。 ○学校評価アンケートで「学校は、地域環境を活かした学習活動を充実させている」と回答している保護者を98%以上にする。			
		○これまで受け継いできたものを自ら伝えようとする子	○本校独自の伝統の継承(花運動、タイムスリップ花運動、菖蒲相撲、成徳カルタ、打吹山クロスカントリー等) ○琴桜体育賞、橋田科学賞 ○受け継いできたものよさにふれる学習の充実(人材の活用等)	○伝統的な教育活動に進んで参加する。(学校評価アンケートのA評価50%以上) ○学校評価アンケートで「伝統的な教育活動が楽しい」と回答している児童を90%以上にする。 ○学校評価アンケートで「学校は、伝統的な教育活動を充実させている」と回答している保護者を98%以上にする。			
学校間交流の推進	素直で明るい児童が多く、学校生活の中で友達の良さを認めたり、温かい言葉をかけている姿が多く見られる。また、多くの児童が普段他校の児童と関わり合う機会が限られているため、知らない友達とコミュニケーションをとることに抵抗のある児童も少なくない。しかし、集合学習・交流学習で他校の友達と一緒に活動することを楽しみにしている児童は多い。	○地域に誇りと愛情をもち、他校の児童と進んで関わりながら学ぼうとする子	○地域の自然、文化、産業、人材を活用した授業や活動の工夫 ○グループ活動での交流、集合学習後の感想交流等の実施	○地域の方をゲストティーチャーとした集合学習の授業を各学年1回以上する。 ○集合学習後の児童の感想や日記の内容による評価			
		○子どものよりよい育成を図るための学校間同士、保育園・幼稚園、地域との連携	○集合学習担当教員を中心に各学校の担任と連絡・連携を取りながら、集合学習・交流学習の計画・実施を行う。 ○地域人材の積極的な活用	○学校評価アンケート「他校の友達との学習は楽しい」と回答している児童が90%以上にする。 ○各学年年2回以上他校との集合学習・交流学習を実施する。			